

Press Release

報道関係者各位

2023年6月8日

一般社団法人 日本イノベーション融合学会

検定事務局 株式会社ネクストエデュケーションシンク

**DX時代のビジネスで新たな価値を創造する「DX人財」育成に必須の
「DXビジネススキル」レベルを可視化。企業社員や大学・専門学校の
リスキングに最適な「第5回DXビジネス検定(TM)」7/3より申込開始
経産省・IPA策定の「デジタルスキル標準」人財像類型の可視化にも
＜受検日＞法人：10月19日(木)／個人：10月22日(日)**

一般社団法人 日本イノベーション融合学会(IFSJ)は、政府・企業・学校を含めて最優先で推進している、DXビジネス変革の実現に向け、全ての社会人・企業人が「DXビジネス人財」を目指し、リスキングやDXビジネス知識・ビジネス創造力を強化するために役立つ新検定、「DXビジネス検定(TM)」を2021年より主催しています。次回第5回検定の受検申し込みが、2023年7月3日の正午より開始されますので、ご案内いたします。

＜受検日＞法人：2023年10月19日(木)／個人：10月22日(日)

※「DX検定(TM)シリーズ」の累計、【受検実績企業】はこちら

(<https://www.nextet.net/kentei/test/katuyou.html#kigyuu>)

※株式会社ネクストエデュケーションシンクは、本検定の事務局を運営しております。

＜内容＞

経済産業省より「DX推進スキル標準」や「DXリテラシー標準」が策定されています。たとえば「DX推進スキル標準」では、そのねらいは、「DXを推進する人材の役割や習得すべき知識・スキルを示し、それらを育成の仕組みに結び付けることで、リスキングの促進、実践的な学びの場の創出、能力・スキルの見える化を実現する」こととされています。

DXの実現に向けて、各企業でどのような人財を確保・育成することが必要になるか、適切に設定することが重要といえます。(デジタルスキル標準 ver.1.0 III.DX推進スキル標準 より)

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/skill-standard/dss/ps6vr700000083ki-att/000106871.pdf>

企業における「デジタル技術とビジネスとの間を橋渡しできる人財」(ビジネスアーキテクト)のニーズ急増を受けて2021年に新設された「DXビジネス検定(TM)」は、自社ビジネスと「DX」の関わりを知り、世界や国内の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を多数理解することで、すべてのビジネスパーソンが先進の「DXビジネス推進人財」「ビジネスアーキテクト」「ビジネス価値創造人財」となることを目指せる最新検定です。

本検定は、企業がDXを推進する専門性を持った人財を確保・育成するために、人財のデジタルスキル

カテゴリ	分類	説明	主なキーワード
DX 基礎領域	01 DXの基本	D X の基礎用語や事例	D X、改めDX、デジタルイノベーション、デジタルイノベーション、非連続イノベーション、共通プラットフォームなど
	02 デジタル技術	デジタル技術用語や事例	IoT、5G、API、アジャイル開発、MaaS、マイクロサービスなど
	03 データと分析	データ、分析用語や事例	データサイエンス、BI、ETLツール、非構造化データ、NoSQL、シミュレーションなど
	04 マーケティング	マーケティング用語や事例	O2O、OMO、リードジェネレーション、ナッジ理論、リードナーチャリング、カスタマージャーニー、インフルエンサーなど
DX ビジネス モデル	05 消費者の状況と ビジネス環境	ビジネスモデルの前提になる 消費者の状況とビジネス環境の 用語や事例	ネットワーク外部性、トモグラ、モジュール化、レイヤー化、サードパーティ、UI、UX、デザイン思考など
	06 戦略モデル	ビジネスモデルのうち、 戦略モデルの用語や事例	媒介型プラットフォーム、シェアリングエコノミー、クラウドファンディング、新商品モデル、アズ・ア・サービス、イネーブラーなど
	07 オペレーションモデル	ビジネスモデルのうち、 オペレーションモデルの 用語や事例	SPA、メイクトゥオーダー、直販(ダイレクトセル)、オープンイノベーション、プロシューマー、顧客ライフサイクル、サブスクリプションなど
	08 収益モデル	ビジネスモデルのうち、 収益モデルの用語や事例	レベニューシェア、投げ銭モデル、サブスクリプション、アドオン、カスタマーロイヤリティ、フリーモデルなど
DX ビジネス 事例	09 ビジネスモデル事例 (デジタル集客系)	デジタル集客、マッチング、 マーケットプレイス(デジタル・ リアル商材)ビジネスに 関する事例	C2C取引サービス、マッチングサービス、クラウドファンディング仲介企業、シェアリングサービス企業、SNSサービス企業など
	10 ビジネスモデル事例 (デジタル商材系)	デジタル商材(リアルとの融合 含む)ビジネスに関する事例	スコアリングサービス企業、チャットアプリサービス企業、決済サービス企業、パソコンサービス企業など
	11 ビジネスモデル事例 (リアル+デジタル融合)	リアルビジネスとデジタルの 融合に関する事例	サブスクリプションサービス企業、O2O企業、ネットスーパー、オアシスエコーサービス、デジタル化商材など
	12 ビジネスモデル事例 (リアル)	リアルビジネスの事例	SPA企業、工場直売企業、 グループウェア・戦略を実施する企業など

▲DXビジネス検定(TM)シラバス

の可視化、学習の成果を可視化する研修効果測定や、DX レベル認定を目標にする等に活用いただけます。

受検対象は、すべてのビジネスパーソンの方であり、企業の新入社員、若手社員、営業社員、中堅層からベテラン層、管理職、経営層まで。また、これからの DX 時代で活躍を目指す社会人の方、大学・専門学校生の方々の DX ビジネスリテラシー育成や、就活にそなえたビジネス知識の育成にも役立ちます。

この度、第 5 回「DX ビジネス検定(TM)」申し込みが 2023 年 7 月 3 日 12 時より開始されますので、ご案内します。

申し込み期間：2023 年 7 月 3 日(月)12 時～10 月 3 日(火)12 時

検定日程：

- ・法人：2023 年 10 月 19 日(木) 11:00～12:00 もしくは 13:00～14:00(どちらかに受検)
- ・個人：2023 年 10 月 22 日(日) 13:00～14:00

出題分野は添付の学習シラバス(画像)をご覧ください。

※株式会社ネクストエデュケーションシンクは、本検定シリーズの事務局を運営しております。

また本検定は、企業の人事・人材育成にもご活用いただけますよう、企業でスキル認定する上での標準指標を発表し、レベル認定制度を実施しており、成績優秀者はスコアに応じ、レベル認定証が発行されます。レベル認定された方には、ブロックチェーン技術を使ったスキルのデジタル証明・認証である「オープンバッジ」(2 年間有効)が付与されます。



▲オープンバッジ画像サンプル

この認定を目指す企業様が增加傾向のため、検定準拠のオンラインで場所を問わず、テレワークでも学習できる「DX Study (TM)e ラーニング 2023」とのセットでのお申し込みが増えています。

(評価でも利用できる、企業の DX 人材像別の標準スコア指標の詳細はこちら：

<https://www.nextet.net/column/dx/dxkenteiseries02.html>)

<レベル認定概要>

- スコア 800 以上⇒「DX ビジネス・プロフェッショナル レベル」認定
- スコア 700 以上⇒「DX ビジネス・エキスパート レベル」認定
- スコア 600 以上⇒「DX ビジネス・スタンダード レベル」認定

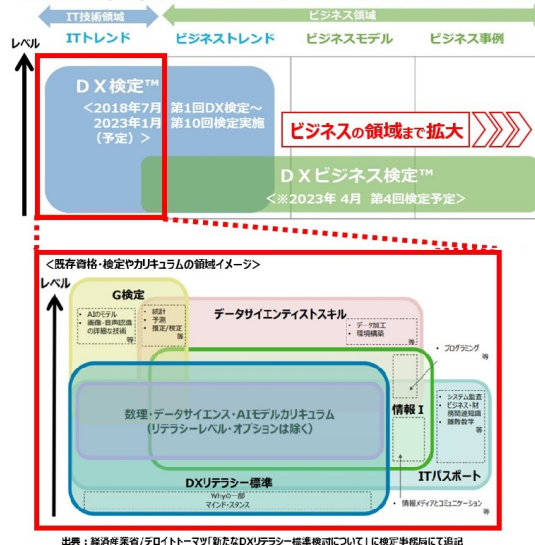
まずは全社員で「DX ビジネス・スタンダードレベル」を目指し、次の目標として「DX ビジネス・エキスパートレベル」、最終的には「DX ビジネス・プロフェッショナルレベル」を目指していただくことをお勧めしています。

検定受検の詳細・お申込みは以下より確認可能です。

▼DX ビジネス検定(TM) 公式ページ

<https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>

▼「DX検定(TM)」シリーズと既存資格やカリキュラムの領域イメージの違い



■ 検定概要

検定名	DX ビジネス検定(TM) <「DX 検定(TM)」シリーズ>
試験概要	DX 時代の全ての企業人財（※ビジネスパーソン）の DX ビジネス力を全分野から統合的に可視化する検定。また、基礎的な DX ビジネス分野から、DX ビジネス理論、マーケティング用語、DX ビジネスモデル、DX ビジネス事例などから幅広く出題される「デジタルスキル標準」にも対応した検定です。
動作環境	次のブラウザを推奨しています。※Macintosh では動作保証はしていません。 <PC> Google Chrome、Edge、Firefox
レベル認定について	成績優秀者はスコアに応じ、以下のレベル認定証が発行されます。(1000 ポイント満点) スコア 800 以上⇒「 DX ビジネス・プロフェッショナル レベル 」 スコア 700 以上⇒「 DX ビジネス・エキスパート レベル 」 スコア 600 以上⇒「 DX ビジネス・スタンダード レベル 」
出題問題	最新技術を活用したビジネスモデルや注目事例を中心とした DX ビジネスにかかわる全般の必須知識項目の幅広い範囲から、厳選して出題 ※検定委員会による定期的な検討会により、毎回、最新項目が出題されています。 ※推奨参考図書は検定サイトに随時ご案内しています。
受検料	一般：6,600 円（税込） <※学校経由の団体申込みは別途、お問合せください> （検定サイトから、①個人申し込み ②法人申し込み が可能です。
開催時期	4 月、10 月の年 2 回実施 （Web 開催）
第 4 回開催日	法人：2023 年 10 月 19 日(木) (1)11 時～12 時、(2)13 時～14 時のどちらかを選択 ※50 名様以上の団体受験の場合、別途企業向けの検定実施日もご相談ください。 個人：2023 年 10 月 22 日(日) 13 時～14 時 受検所要時間：60 分、96 分
結果発表予定	2023 年 11 月 22 日(水)を予定。 ※また検定実施後の企業向けオプションとして、ご希望により組織分析・全国比較報告等の支援も承ります。

■ DX ビジネス検定 (TM) 公式サイト <https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>■ 一般社団法人 日本イノベーション融合学会 (IFSJ) サイト <https://www.ifsj.or.jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ

DX 検定(TM)事務局

株式会社ネクストエデュケーションシンク内 榎／齋藤（加那）

TEL：03-5842-5148 FAX：03-5842-5147 e-mail: ifsj-itbt@nextet.net

ニュースリリースに掲載されている情報（サービスの価格／仕様、内容及びお問い合わせ先など）は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。